

Tomamae しごと Fes 実施報告書

■ 事業のねらい

地元の中中学生・高校生を対象に「まちの魅力ある職業」として自分がなぜその職業を選択し生業としたかを、自らの失敗や挫折を経てきたことも加えながら伝えることで、改めてまちや人の魅力を知ってもらうとともに、参加者が職業選択をするための参考となるよう実施する。

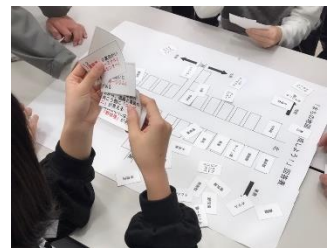


- 実施日 令和元年 12月8日（日）
- 参加対象 苫前町の中中学生・高校生
- 参加者数 42名
(中学生27名・高校生4名・メンバー11名)
- 場 所 苫前町公民館

1 事業内容

○交流ゲーム

受付でくじ引きを行いランダムにグループを分け、グループ対抗戦を行いました。グループの全員が協力し、ミッション達成のために力を合わせる事が重要であることを学ぶとともに、仕事においても積極的に参加し時間内に終わらせることの大切さを学びました。



○ブース紹介

子どもたちが希望するブースを選択することができるように、各ブースの紹介を行いました。

- ブースは以下のとおり。
- ① 役場職員 ② 栄養士 ③ 農業 ④ 商店・飲食店
 - ⑤ 消防士・救命救急士・消防団 ⑥ 授精師・酪農



○ブースタイム

ブース紹介を聞いて自身が希望するブースを3つ選択しました。1ブース25分間を3セット行いました。



○しゃべり場

ブースタイム終了後、全員で集まりブースを回った感想や、新たな気付き、質問などを引き出す場として設定し、メンバーの西氏がファシリテーションを行いました。



2 成果

参加者の中高生は自身になりたい職業や興味のある職業のブースを回り、具体的な仕事の内容やこれからどのような進路を歩んでいくべきかの参考としました。

職業ブースはブースごとに人数の大きなばつぎがなく、どの職業も中高生の関心が高いことがわかりました。また、どのブースも一方的な話で終わるのではなく、実技を交えたブース展開としたため（試験問題にチャレンジしたり、加工品を試食したり、メニューを考えたり、ショップの価格を設定したり・・・）よりその職業をリアルに感じる事ができました。

参加者からは「まちにはまだまだ希望があるのだと再確認できた。」「（地方創生塾メンバーの）人柄というか、町が好きなんだなと感じられるのが伝わって、自分が町や社会に貢献したいという思いが強くなりました。」「苫前町の仕事に興味を持てた」などの意見が出されたことはこのフェスの大きな成果と言えます。